

◇お知らせ◇

平成29年度 膵臓病研究奨励賞受賞者決定

公益財団法人 日本膵臓病研究財団

平成29年度 膵臓病研究奨励賞の受賞者は、下記の17名の研究者に決まりました。

記

1. 村上 崇(横浜市立大学消化器・腫瘍外科学)  
研究課題:膵癌、膵前癌病変におけるCRMP4制御機構の解明
2. 濱田 晋(東北大学大学院医学系研究科消化器病態学分野)  
研究課題:Keap1-Nrf2経路は慢性炎症からの膵発癌に寄与するか
3. 塩川雅広(神戸大学科学技術イノベーション研究科)  
研究課題:自己免疫性膵炎の新規自己抗体の測定による新たな診療体系の確立
4. 田原純子(東京女子医科大学消化器内科)  
研究課題:自己免疫性膵炎に合併する悪性腫瘍発生の病理学的検討
5. 谷口博昭(東京大学医科学研究所)  
研究課題:がん幹細胞性を担うPRDM14分子を対象とした膵がんの革新的治療・診断法の確立
6. 有馬浩太(熊本大学大学院消化器外科学)  
研究課題:代謝物網羅的解析による膵癌進展バイオマーカーの検索
7. 末永雅也(名古屋大学医学部附属病院 消化器外科二)  
研究課題:循環腫瘍DNAを用いた膵癌術前治療の新規効果判定法の開発
8. 松隈 聰(山口大学大学院医学系研究科 消化器・腫瘍外科学)  
研究課題:膵癌幹細胞の免疫学的機能に関する解析
9. 鈴木 玲(福島県立医科大学医学部 消化器内科学講座)  
研究課題:microRNAによる膵癌間質反応形成機序の解明と診断への応用
10. 上田真史(岡山大学大学院医歯薬学総合研究科(薬学系))  
研究課題:難治性膵管がんの早期検出のための高汎用性PET診断用プローブの開発研究
11. 小泉光仁(愛媛大学大学院消化器・内分泌・代謝内科学)  
研究課題:膵癌進展におけるインフラマソーム・ASCの役割
12. 赤堀宇広(奈良県立医科大学消化器・総合外科学教室)  
研究課題:Myostasisの実験的・臨床的病態解明による新規膵癌治療法の開発
13. 有明恭平(東北大学大学院医学系研究科消化器外科)  
研究課題:膵癌術後の腹膜播種再発予防を目指した取り組み～潜在的癌遺残同定法の確立

14. 三長孝輔(近畿大学医学部消化器内科)

研究課題:腸内細菌叢から見た慢性膵炎に対する膵臓酵素の補充療法の作用機序の解明

15. 大本晃弘(国立がん研究センター研究所)

研究課題:改訂ベセスダ基準に該当する既往歴・家族歴を有する膵がん患者における生殖細胞系列変異に関する研究

16. 谷口浩二(慶應義塾大学医学部微生物学・免疫学)

研究課題:膵臓癌におけるSrc-YAP経路の役割の解明

17. 堀 寧(名古屋市立大学大学院 消化器代謝内科学)

研究課題:GWASによる急性膵炎の重症化に関与する遺伝因子の同定